

備前市事務事業評価表

事務事業名	マザーズスクール事業	コード	02-02-01-03
		担当課・係	保健課 健康係
		担当者	兼光 民恵
		電話	64-1820
事業実施期間	昭和52年～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり	
	小項目(施策)	母子保健 一貫した母子保健の推進	

事業について	
目的 (何のために)	母親が子どもの成長発達を受け入れ、子育ての方向性を見出せるよう支援する。
対象 (誰・何を対象に)	主に言語及び情緒の発達が気になる幼児とその母親
内容	集団遊戯訓練、個別訓練、個別相談等

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
実施回数	168 回	135 回	
参加延人数	1,215 人	1,052 人	
参加実人数	40 人	46 人	
交流会実施回数		12 回	
交流会参加人数		44 (うち卒園者34) 人	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,344	間接補助金等	1,929	直接事業費	4,605	間接補助金等	1,394
	人件費	3,917	委託費負担		人件費	2,415	委託費負担	
	合計	6,261	一般財源等	4,332	合計	7,020	一般財源等	5,626
		0	一般財源等	0		0	一般財源等	0

結果指標	結果指標名	実施回数	実施回数	
	結果指標量	168	135	
	単位	回	回	
	対前年比	—	80.36%	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	6,261,000 円	7,020,000 円	
	単位当たりコスト	32,267 円	52,000 円	
	結果指標名	参加延人数	参加延人数	
	結果指標量	1,215	1,052	
	単位	人	人	
	対前年比	—	86.58%	0.00%
	活動にかかるコスト	6,261,000 円	7,020,000 円	
	単位当たりコスト	5,153 円	6,673 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	不安や悩みの軽減につながった割合		
成果指標名	アンケート結果	式又は説明	参加者アンケート調査結果
	17年度	18年度	
成果指標量	89	70	
対前年比	—	78.83%	0.00%
到達目標値	95	到達目標年度	平成20年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等)	妥当性評価<A~E> B 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	乳幼児健診などで、言語面・情緒面・行動面が気になる幼児とその母親などに対するフォロー教室である。今後も、言語面など不安を持つ母親は増加してくると予想されることから、本事業のニーズは高いと考えられる。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B 課題認識
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	17年度まで、同じ目的の教室が2箇所で行われていたため、18年度からは1本化し、コスト削減に努めている。また、参加者同士の交流会(卒園者も含む)を、18年度から開催している。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	昨年度から実施しているアンケート調査は、参加者全員から回答を得ることができていない状況である。そのため、サンプル数が少なく、結果の指標としては、正確性に欠けている。19年度は、確実にアンケート調査を実施していきたい。
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 1本化での開催となり、日生・吉永からの参加者も年々増加している。18年度から実施している交流会の参加者も増加しており、より積極的なPRをしていきたい。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 実施回数 135回 結果指標量 参加延人数 1100人 成果指標量 90		

総合評価	18年度から、教室を1本化し、1箇所での開催となっている。スタッフも充実し、参加者のニーズを的確に捉え、実施内容を見直し継続していく必要がある。18年度は、交流会に卒園者の参加者が多かったため、今後は、マザーズスクール参加者に、より積極的にPRをし、参加者を増やしていきたい。また、時間がなかなかないという参加者のためにも、マザーズスクール開催時に、卒園者との交流会を年数回程度設けていきたいと思う。	評価区分<A~E> B
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	アンケート調査の実施	H19.4~	事業の有効性の評価を確実に、今後の内容検討に役立つ。